

26	(4)		自ら問題を持ち、学んだことを生かして、意欲的に問題を解決する指導は、どうしたらよいか	綴	小
27	(4)		集団の中で、一人ひとりを生かす算数指導	御 厩	小
28	(8)		めあてに向って、力いっぱい楽しく運動できる子どもの育成	高 坂	小
29	(4)		ひとりひとりの児童の学力を充実させるための学習指導は、どうあればよいか	宮	小
30	(26)	他	主体的に学習に取り組ませるため、自己たしかめの力をどう育てたらよいか	高 野	小
31	(4)		学習意欲を持たせるための指導法の改善	好 間 一	小
32	(5)	他	意欲的に学習にとりくみ、自ら問題をみつけ解決していくための理科指導は、どうあればよいか	好 間 二	小
33	(4)		学習意欲を高めるために、自己たしかめの力をどう育てたらよいか	好 間 三	小
34	(8)		一人一人が楽しく取り組む体力づくりの実践	好 間 四	小
35	(4)		学んだことを生かし、一人ひとりが、自分の力で課題を解決する指導は、どうあればよいか	沢 渡	小
36	(19)		児童の主体的な学習態度を助長するため、視聴覚教材・教育機器をどう活用したらよいか	三 阪	小
37	(1)		輝く目を作り出すための授業はどうか	差 塩	小
38	(2)		正しく豊かな国語力を育てる指導は、どのようにしたらよいか	永 戸	小
39	(1・11)		ふるさと教育を推進し、地域素材の教材化をどのように図るか	永 井	小
40	(2・7)		主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的事項を確実に身につけるための指導をどう進めたらよいか	小名浜一	小
41	(3)	他	社会生活の意味について、考えさせる指導とその評価	小名浜二	小
42	(13)		楽しい学校、思いやりのある児童の育成をめざす、基本的生活習慣の形成	小名浜三	小
43	(7)		生き生きとした造形活動をとおして、創造的表現力を高める指導は、どうすればよいか	小名浜東	小
44	(2)		ひとりひとりの児童が進んで学習にとりくみ、確かな読みの力を身につける指導のありかた	小名浜西	小
45	(7)		楽しく生き生きと造形活動をさせる指導は、どうあればよいか	鹿 島	小
46	(4)	市	多目的スペースを生かした個に応ずる指導は、どのようにしたらよいか	江 名	小
47	(12)		児童ひとりひとりに、実践力を高める学級会活動の指導	永 崎	小
48	(2・11・12)		一人ひとりの能力適性をのばす授業の改造	泉	小
49	(12)		望ましい集団づくりと自主的実践的態度の育成	渡 辺	小
50	(2・21)		正しい豊かな国語力を育てる指導はどのようにしたらよいか	湯 本 一	小
51	(26)		自主的学習や活動を進めるために、多目的スペースをどう活用すればよいか	湯 本 二	小
52	(1)		基礎基本を身につけ、自らすすんで学習する子どもを育てる指導を、どうすればよいか	湯 本 三	小
53	(4)		望ましい集団活動を通して、一人一人の意欲を高める指導は、どうあればよいか	長 倉	小
54	(2)	他	ひとりひとりの子どもに、主体的にとりくませる学習指導法の研究	磐 崎	小
55	(4)		わかる授業の展開をめざして — 算数科 —	藤 原	小
56	(2)		進んで学習にとりくみ、生き生きとした児童の活動がみられる学習指導の改善	植 田	小
57	(11)		道徳の実践力を高めるための道徳の授業は、どうあればよいか	汐見が丘	小
58	(1)		一人ひとりを生かし、自ら学ぶ力を育てる学習指導は、どうあればよいか	錦	小
59	(19)		思考力を高めるために、視聴覚教材や教育機器をどう活用したらよいか	錦 東	小
60	(8)		体力を高めるための授業の組み立て	菊 田	小
61	(12)	他	望ましい集団活動を通して、実践力を高めるための児童活動の指導は、どうあればよいか	勿 来 一	小
62	(4)		児童の個性・能力を伸ばす評価の研究	勿 来 二	小
63	(2)		児童一人一人に、豊かな言語表現力を育成するための指導法の研究	勿 来 三	小
64	(24)	文	土に親しみ、働く喜びや生産の喜びを体験させる勤労生産学習	川 部	小
65	(2・9・11)		ひとりひとりの児童が、集団の中で自ら考え、工夫して問題を解決し、協力しあって実践するためには、どのような指導が必要か	上 遠 野	小
66	(8)	他	めあてに向って、進んで運動する子どもを育てるには、どうすればよいか	入 遠 野	小
67	(1)		学習意欲を高めるための板書やノート作りをどのように工夫したらよいか	田 人 一	小
68	(4)		自ら学びとる力を育てるにはどうしたらよいか	田 人 二	小
69	(4)		一人ひとりに学習を成立させるための手だては、どうあるべきか	石 住	小
70	(20)		児童自らが学習課題を明確につかみ、自ら学びとる力を育てるための指導	貝 泊	小